

## 平成26年度第3回豊川市環境審議会議事録

■日 時 平成26年11月25日（月）  
午前9時30分から午前11時30分まで

■場 所 市役所 本34会議室

### ■出席者

（委員）

藤田 佳久（愛知大学名誉教授）  
後藤 尚弘（豊橋技術科学大学准教授）  
中島 国輔（愛知県地球温暖化防止活動推進員）  
田中みや子（愛知県地域環境保全委員）  
米浪 誠（豊川商工会議所 産業基盤強化委員会委員長）  
寺部 重人（一般社団法人豊川市薬剤師会会長）  
鈴木 宏（豊川市連区長会副会長）  
丹下恵美子（エコ☆はじめの一步会計）  
林 正人（東三河総局県民環境部環境保全課課長）  
勝見 富和（豊川保健所生活環境安全課課長）  
池田 宏生（豊川市環境部部長）

（事務局）

|              |       |
|--------------|-------|
| 環境部次長        | 椎葉 浩二 |
| 環境部環境課課長     | 芳賀 金治 |
| 清掃事業課課長      | 森下 保  |
| 環境部環境課課長補佐   | 中西 明  |
| 環境部環境課環境政策係長 | 近藤真理子 |

### ■議 題

- （1）豊川市環境基本計画見直し（案）について
- （2）豊川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）について
- （3）その他

### ■会議内容

#### 1 議題

- （1）豊川市環境基本計画見直し案について

環境課課長補佐 概要説明

・委員からの意見及び事務局回答

（委員）

市民アンケートを目標値としているが、市民満足度が低い。「公共交通機関の利便性」に関してなど、目標達成が無理なままでよいのか。

（事務局）

第5次総合計画でもこの指標を使っている。各課にも問い合わせたが、

「目標値に向けて努力する。」という回答であった。公共交通についても、コミュニティバスの利用者は増えている。各課で策定している計画も変更していないという経緯もある。

(委員) 市民アンケートはどのように実施されているのか。

(事務局) 2年に1回市民向けにアンケートが実施され、経年変化を見るため同じ質問がされている。

(委員) 公園について、平成21年から25年について、満足度がそんなに増えていない。公園の面積は20年度から増えているのにどういうことか。

(事務局) 平成23年度は満足度が57.9パーセントあったりした。スポーツ公園の改修、平和公園の整備などが計画されている。また満足度も上がっていくと予想される。

(委員) 御油松並木公園など、とてもよい公園なのに、あそこへ行こうというイベントやきっかけみたいなものがない。一度行けば良い公園ということが分かる。何か対策は。

(事務局) 担当課が今後も周知を図っていく予定。

(委員) 広く浸透すればもっと満足度が上がるのではないか。

(委員) 御油松並木公園は、先週の日曜日に天然記念物60周年記念ということでイベントがあったが、地元しか参加しないイベントだった。うまく市民に宣伝して、もっと参加者を増やす努力が必要。PR不足である。

(事務局) 今後努力していく。

(委員) 満足度調査は、どうして満足できないのかなど、結果が検証されているのか。

(事務局) 市民アンケートは満足度しか聞いていない。検証は担当課が計画策定時に再度アンケートを実施している。

(委員) 検証がされないと数字は上がらない。

(委員長) 赤塚山公園やふるさと公園などの大きい公園と、身近な公園で分けないと回答は難しいかもしれない。

## (2) 豊川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案について

環境課環境政策係長 概要説明

・委員からの意見及び事務局回答

(委員) 2ページの大気中の二酸化炭素濃度について、一宮で測っている。地元のデータを使ってはどうか。

(事務局) データを探して載せる。

(委員長) アメダスは、豊川市はあるのか。

(事務局) 豊橋を採用している。

(委員) 41ページの図の左側の単位スケールが大きすぎて、グラフの帯が小さく見づらい。53ページなど「普及」「啓発」等の文言を使っているが、どのように使い分けているか。何をするかに関わるので、意識して使うべき。

(事務局) 検討して修正する。

(委員長) 41ページの下図は、始点が1,050から始まるので、0から作るか、空きの帯を入れる

(委員) 57 ページ「住宅用」を削除すべき。

(委員) 71 ページについて、推進体制については、環境基本計画と同じか。

(事務局) その通り。

(委員) 71 ページ、意見の反映について、環境基本計画と違うがどうか。

(事務局) 同じように修正する。

市民の取組について、「取り組みます」と「協力します」などニュアンスが違う語尾になっているが、どのように使い分けているか。

(事務局) 「取り組みます。」の方がより積極的ですが、取り組む内容が難しい場合は「協力」にとどまったりしている。

(委員) 21 ページの名鉄の駅が2駅しかない。諏訪町なども入れてはどうか。

(事務局) 豊川市の統計がそれだけしか取っていない。可能であれば入れる。

(委員) 出来上がった計画書はどうやって配布するのか。地球温暖化対策について何をやればよいのか分からない人に届くようにしなくてはいけない。

(事務局) 公共施設へ設置するとともに、広報やホームページに掲載し、周知する。

(委員) 広く知ってもらう工夫をする必要がある。勉強会や講演会を実施したり、何かのイベントのついでに啓発するなど働きかけが必要。設置や掲載だけでは放置である。

(事務局) 地球温暖化問題に関する出前講座などの際に、計画書についても説明して周知を図る。

(委員長) カタカナ語が多い。カタカナ語の後に和訳をつけるなど工夫があったほうが良い。

(委員長) NPOの人との関わりなど、市民を浮かび上がらせる仕掛けがあったほうが良い。新城市は美化活動などを汲み上げながら地域整備をやっている。市民パワーをいかに使っていくかという仕組みづくりが必要。サポートが動機づけに繋がる。

アダプトプログラムの地図を入れるなど、イメージできるものが大事。具体的にどうなのか書く。

アダプトプログラムに登録するとどのような支援があるのか具体的に知らせないといけない。それが市の独自のデータとして充実してくる。

(委員) 巻末の用語集に該当する難しい単語には「※」を入れる。「※」が用語集で解説されていることをどこかに書く。

(委員) 64 ページの緑のカーテンは情報量が少ないのでは。受賞理由などを入れてはどうか。

### (3) その他

(事務局) 環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）については、審議会の意見として12月末までにまたご意見をいただきたい。

温暖化対策実行計画については1月にパブリックコメントを実施する。

1月のパブリックコメントを経て、次回審議会は2月とする。

会議終了